

NPO法人 パウル会 中期計画(2022年度～2025年度) 立案

	取組み内容			
	2025年 将来にわたる経営計画が立案されている	2024年度 (第9期介護保険計画開始)	2023年度	2022年度
(1)各地域別の展開				
① 訪問看護の地域別のサービス展開	各地域(行政区分)について、訪問看護の需要動向を把握でき、それに基づいて地域別の進出計画が立案され、計画的に事業の範囲が拡大されている		・長野方面への展開 ・地域別の進出計画立案 ・継続的な各地域の需要応需	・長野方面の動向調査 ・その他の地域についての需要調査 ・継続的な各地域の需要応需
② 在宅訪問診療支援事業 診療所Drのバックアップ体制の構築	・「バックアップサービス」の事例安定確保(各地域ごとの計画値設定) ・運営委託サービス(既存企画)の試験運用着手 ・導入コンサルティングサービス(新規企画)のクライアント候補へのアプローチ	「バックアップサービス」の事例拡大 (目標件数 件、目標診療所数 件)	「バックアップサービス」の事例拡大 (目標件数 件、目標診療所数 件)	診療所(2～3件)との「バックアップサービス」体制の仕組み作りと連携実績の積み上げ *ここでいう「バックアップサービス」とは、通常訪問診療については開業医師が行なう患者について、依頼時(不在時)の往診や看取りのサポートを行なうサービスをさす
③ 須坂市地域センターへ向けての取り組み ・須坂市地域包括支援センター受託準備 ・療養通所の適正運用と地域密着型通所介護	須坂ケアセンターが一つの地域の複合事業拠点として20年を見越した姿の構築が完了している	須坂ケアセンターモデル完成(第2期)	須坂モデルの最終整備計画立案(ハード建設の可否判断)	須坂ケアセンターモデル完成(第1期) ・療養デイ⇒地域密着型デイ (お泊まり デイ)への転換 ・定期巡回の拡充 (配食サービス展開)
④ 各地域(中野、長野他)におけるセンター化構想	各地域(行政区分)について、介護保険計画他の行政計画を把握した上で、拠点としてのセンターの配置、展開事業の内容が具体化或いは具体的な計画ベースまで企画されている	地域別の進出(計画に沿って)	地域別の進出計画立案	各地域における需要調査
(2)既存事業所のサービスの質の向上	第9期介護保険事業計画及び各地域のサービス需要が把握されそれらに沿った各地域での適正なサービス展開がされているとともに、具体的な指標をもって質の管理がされる体制が構築され、計画的に目標値が設定されそれらに沿って管理がされている	確率された管理指標に基づいて中期的(複数年)にわたる改善計画が立案され改善活動が開始されている	2022年度の取組について全事業所共通の指標や事業所別の指標を明確化し、組織的な管理を確立する	事業ごとに質の管理について客観的な指標を設定し、改善計画を立案、改善活動を行ない評価検証を行う(客観的データによる評価の実施)
(3)非収益事業(助葬サービス)の企画・試行	・「おみおくり支援(仮称)」について複数年の実績が蓄積され、社会貢献事業(非収益事業)としてパウル会での当該事業の位置づけが確立されている ・「おみおくり支援(仮称)」から葬祭業の拡大の可否について明確になっており中期的な事業開設の可否が判断できる ・その他の非収益事業(公益的な事業)について検討され、具体的な計画が企画されている	2025年度までの目標が設定され計画に沿った運営がされている	2025年度までの目標が設定され計画に沿った運営がされている	「おみおくり支援(仮称)」事業が計画的に準備され事業が開始される
(4)認知症ケアサービスの提供体制構築	各サービスについて、認知症対応が必要な利用者の傾向(人数割合やその程度)が把握され、認知症利用者を想定した運用について標準化がなされ、「社会から認知症利用者について対応力がある事業所」であるとの評価が得られる状況になっている(客観的な評価が求められる)	計画の修正と実施	計画の実施	サービスごとの認知症利用者に対する取組項目の設定とその改善実施計画の立案
(5)サービスを担うスタッフの確保	(ブランド化) 地域において「パウル会ブランド(具体的指標必要)」を確立し、地域の中でも優秀な人材を集める求人体力(具体的指標が必要)を獲得する (外国人材) 外国人材を集め、教育するノウハウを獲得し、必要な事業を継続展開するのに必要な人材獲得能力がついている	(ブランド化) 計画にもとづいて目標指標を達成する (外国人材) ・第二期の受入が具体化されてからの課題が明確にされ、その課題についての改善計画が立案される ・教育プログラムに沿った研修が進められ、第三期に向けた修正、改善が完了された上で第三期の受入がされる	(ブランド化) 計画にもとづいて目標指標を達成する (外国人材) ・第一期の受入が具体化されてからの課題が明確にされ、その課題についての改善計画が立案される ・教育プログラムに沿った研修が進められ、第二期に向けた修正、改善が完了された上で第二期の受入がされる	(ブランド化) 職員のやりがい明確化し(「待遇の差別化」「教育システムの確立」「社会から評価される事業内容」等)事業計画に位置付ける(企画計画)(外国人材:第1期受け入れ準備) ・居住、労働環境について検討され、受け入れ準備の為の改策が進められている(上半期) ・育成責任者、実習担当者との教育プログラムの策定ができています ・第一期の受け入れがされる(下半期)
(6)本部機能の独立	・社会福祉法人等(或いは公益財団法人も検討)への転換について具体的準備が進められている ・2025年以降の長・中期計画が立案されている ・地域におけるパウル会ブランドの本部機能の役割を果たしている	・人事・算定企画・庶務・会計の各部門に適正な人員が配置され、業務整理、改善が進められている ・各事業所運営について適正な事務職員の配置が進められている ・新規取組事業における研究・開発サポートが実施できている ・財務健全化が進められている ・立案されたNPO法人としての機能等を向上させる計画について実施を行なう	・人事・算定企画・庶務・会計の各部門に適正な人員が配置され、業務整理、改善が進められている ・各事業所運営について適正な事務職員の配置が進められている ・新規取組事業における研究・開発サポートが実施できている ・財務健全化が進められている ・立案されたNPO法人としての機能等を向上させる計画について実施を行なう	・本部機能を物理的に独立(本部棟の確保)させるとともに、本部総合職の増員を回り本部機能の向上を具体化する ・IT化を促進する(勤怠システム、リモートワーク他) ・各事業所のサポート体制(業務効率化、働き方改革、処遇改善計画)が進められている ・新規取組事業における研究・開発サポートが実施できている ・医療法人からの自立を具体的(本部機能の独立、応分な経費負担他)にすすめる ・NPO法人としての機能(総会機能、会員機能、寄付を原資とした分野の事業の明確化と実施)等を向上させる計画について企画を行なう